

「いつてきます」

学校へ行けるしあわせ

「いただきます」

ごはんを食べれるしあわせ

「いっしょにあそぼう」

友だちとあそべるしあわせ

「お母さん、あのね・・・」

あまえられるしあわせ

「おやすみなさい」

ねむれるしあわせ

今、わたしの生活は

たくさん「しあわせ」で

かこまれている

ある国の男の子は

ランドセルではなく

じゆうをせおっていた

ある国の男の子は

ガムではなく

ゴムをかんでいた

ある国の女の子は

おしゃれなふくではなく

ボロボロのふくをきていた

ある国の女の子は

きらきらかがやくデパートではなく

ゴミの山を歩いていて

ある国の男の子は

あたたかいお家ではなく

マンホールの中にすんでいた

わたしの知らないせかい

でも同じ子ども

同じ人間

わたしが

「あたりまえ」

「ふつう」

だと思っていたことが

あたりまえではなく

あたりまえではなく

ふつうでもなかった

沖繩もせんそうがあつたとき

町も村もぼろぼろ

人の体も心もボロボロだった

と聞いた

あたりまえのことが

ふつうだったことが

いっしゅんのうちにうばわれた

と聞いた

かなしさとふあんで

いっばいになった

あたりまえの

小さなしあわせ いいな

みんなが

「しあわせ」と

感じられたらいいな